

教育活動の報告

榊原 洋一（お茶の水女子大学人間発達教育研究センター）

本講座は、現職保育者をはじめ幼児教育・保育に関心を持つ社会人の学び直しの機会を提供するために、平成17年度以下の4種類の業務を実施してきた。

（1）特設講座授業の開講

「子どもの心身の理解」「育児・保育の理解」「保育教材・保育環境の理解」の3本柱をもとに、合計19科目を開講した（表①参照）。合計172名（社会人受講生75名、学部学生97名）の受講者があった（付表①参照）。

表① 平成20年度 開設科目

【前学期】		【後学期】	
常設授業	コミュニティ保育教育論Ⅰ	常設授業	コミュニティ保育教育論Ⅱ
	育児・保育環境と工学Ⅱ		子どもと家族
	子どもの病気とそのメカニズムⅡ		乳幼児の発達と脳科学Ⅱ
	保育実践研究Ⅰ／Ⅲ		保育実践研究Ⅱ／Ⅳ
	保育臨床演習Ⅱ		比較保育学Ⅱ
夏期集中授業	○保育者の情報学基礎	土曜集中	○幼児理解とその方法Ⅰ
	○絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅰ		
	現代育児論Ⅱ	春期集中	○保育システム論
	○絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅱ		○発達障害の医学

※○印は「免許法認定公開講座」との共用科目

（2）平成20年度免許法認定公開講座の実施

前学期と後学期に、幼稚園一種免許を取得するための教育職員免許法に基づく公開講座を実施し、6科目を開講（夏期集中授業3科目、土曜集中授業1科目、春期集中授業2科目）した（表②参照）。前学期は14名、後学期は15名の受講者があった。

表② 平成20年度 幼稚園一種免教法認定公開講座開設科目

科目名		講師
前学期	絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅰ	中村 柊子(絵本研究家)
	絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅱ	黒井 健(絵本作家)
	保育者の情報学基礎	長谷川 武弘(お茶の水女子大学 講師)
後学期	幼児理解とその方法Ⅰ	内田 伸子(お茶の水女子大学 副学長・教授) 大戸美也子(お茶の水女子大学 教授) 刑部 育子(お茶の水女子大学 准教授) 柴坂 寿子(お茶の水女子大学 准教授) 浜口 順子(お茶の水女子大学 准教授)
	保育システム論	村山 祐一(帝京大学 教授) 亀井美登里(国立成育医療センター 運営部長)
	発達障害の医学	榊原 洋一(お茶の水女子大学 教授)

(3) 土曜保育フォーラム シリーズ⑤の開催

保育に関する今日的課題に焦点をあて、専門家による講義をシリーズで公開してきたが、平成20年度は、以下のテーマを設け3回の連続講義を実施した。

シリーズ⑤のタイトル、講師及び参加者数は表②の通りである。

表② 平成20年度 土曜保育フォーラムのタイトル、講師及び参加者数

前期 シリーズ⑤ 「気になる子どもへの園での対応」

日にち	タイトル	講師	申込者	参加者
6月21日	園での対応 ～具体例から	上原 芳枝	110	103
6月28日	気になる子どもへの対応の実践	岡田 眞子	119	110
7月19日	高機能自閉症への対応 ～アメリカでの実践例	久保 由美	88	71
		合計	317	284

(4) モノグラフの作成

上記(3)の土曜フォーラムの内容を元に、モノグラフ「気になる子どもへの園での対応」を発行した。